

\テーマは、「未来へつなごう！藤前干潟」/

ふじ まえ ひ がた

藤前干潟

～ラムサール条約登録20周年記念～

ふれあいデー 2022



開催報告書





開催概要

1 趣 旨

藤前干潟は2002年11月18日にラムサール条約に登録され、2022年11月に20周年を迎えました。この機に、藤前干潟の保全活用の意義及びその重要性をわかりやすく広く市民の皆さまに伝え、藤前干潟を継承していくため、記念イベントとしてさまざまな企画を実施しました。

2 テーマ

未来へつなごう！藤前干潟

3 日時等

- (1) 日時 令和4年11月19日（土）9時30分～16時00分
- (2) 会場 稲永会場：環境省稲永ビジターセンター/
名古屋市野鳥観察館
(名古屋市港区野跡4-11-2)
藤前会場：環境省藤前干潟活動センター
(名古屋市港区藤前2-202)



4 主催

藤前干潟ふれあい事業実行委員会

	氏名	所属
委員長	千頭 聡	藤前干潟協議会運営委員長
副委員長	齋藤 牧	名古屋市環境局環境企画部主幹（環境教育）
委員	森井 豊久	名古屋鳥類調査会 代表
委員	亀井 浩次	NPO法人藤前干潟を守る会 理事長
委員	廣澤 一	環境省中部地方環境事務所 野生生物課長
委員	夏目 享之	愛知県環境局自然環境課担当課長（自然環境）
監事	市橋 和宜	藤前干潟ふれあい事業実行委員会事務局長（名古屋市）

5 協賛



(五十音順)

6 来場者数

延べ3,000人

7 天候

快晴



稲永会場

(稲永ビジターセンター／名古屋市野鳥観察館)

会場図

稲永会場

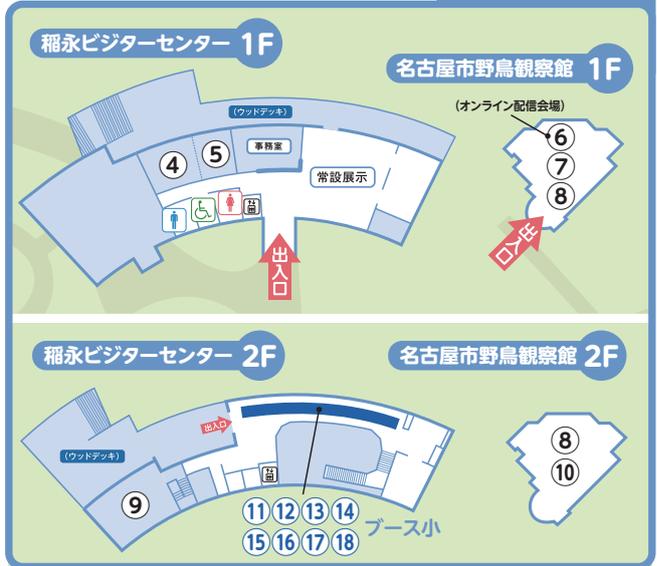


稲永ビジターセンター・名古屋市野鳥観察館

屋外会場



屋内会場



- ① 名古屋港スナメリプロジェクト／名古屋港水族館
- ② 庄内川源流の森の間伐材でマイ箸づくり／土岐川庄内川源流の森委員会
- ③ あおなみさんぽ 2022秋／名古屋臨海高速鉄道株式会社
- ④ **要申込** 講座
プランクトンの世界～藤前干潟を中心に～ (13:30～15:00)
- ⑤ 企画展「鳥のからだのしくみ展」
※配信の都合により10:30～12:10(ミニシンポジウム中)は入室いただけません。
- ⑥ **オンライン配信** 記念式典 (9:30～10:10)
ミニシンポジウム～未来へつなごう!藤前干潟～ (10:30～12:10)
- ⑦ 鳥のクリスマスリースを作ろう! (13:30～15:30) **先着20名** ※材料がなくなり次第終了
- ⑧ 野鳥観察
- ⑨ **人形劇** おねがいエコぞう 名古屋ってすごい／人形劇団おたまじゃくし (9:45～/13:30～)
- ⑩ 藤前干潟写真コンテスト応募作品展
- ⑪ イオンの環境保全への取組／イオンリテール株式会社 イオンスタイル名古屋茶屋
- ⑫ 環境省中部地方環境事務所の取り組み紹介／環境省
- ⑬ 生きものと共生する地域づくり・人づくり／株式会社地域環境計画(ちいかん)
- ⑭ 自然や生きものの魅力、大切さを多くの方へ! Nature Clips／Nature Clips
- ⑮ 海洋プラごみ問題について考えよう!／名古屋市環境局減量推進室
- ⑯ モザイクアート藤前干潟の展示～海洋プラごみをアップサイクル～/2R推進実行委員会
- ⑰ なごやの外来種／なごや生物多様性センター
- ⑱ 国内湿地交流事業報告会／国内湿地交流事業



ステージ

【稲永会場】

9:20～ オープニング

9:30～ 記念式典

オンライン
配信あり

11:00～ ゆるキャラタイム

はち丸、シャチのジュンちゃん、メリ夫などとクイズをしよう!



12:35～ 藤前干潟写真コンテスト表彰式

13:00～ 干潟を音であそぼ!

本多“taco-bow”正典
～タイココミュニケーション～



15:00～ 名古屋おもてなし武将隊®演舞

出陣:前田利家、前田慶次、なつ、太助



▲オープニング
(港西保育園の皆様)



▲ゆるキャラタイム



▲干潟を音であそぼ!



▲名古屋おもてなし武将隊®演舞

記念式典

藤前干潟がラムサール条約に登録されてから20周年を迎えることを記念し、式典を実施しました。

当日は多数の方にご臨席いただき、共に20周年を祝いました。

主催：環境省中部地方環境事務所

〈内容〉

- ・ 開式の辞（環境省中部地方環境事務所長）
- ・ 主催者等挨拶（環境省自然環境局長、愛知県知事、名古屋市長）
- ・ 関係者紹介（飛島村長、名古屋市環境局長、港区長）
- ・ 来賓紹介
 - 港区選出県議会議員
 - 名古屋市会総務環境正副委員長
 - 港区選出市議会議員
 - 港区区政協力委員協議会議長（南陽学区区政協力委員会委員長）
 - 港区保健環境委員会会長
 - 港西学区区政協力委員会委員長
 - 野跡学区区政協力委員会委員長
- ・ 保全活動功労者感謝状贈呈
 - 贈呈者：環境省中部地方環境事務所長
 - 受賞者：千頭 聡、伊藤 正博、名古屋市立野跡小学校
- ・ 保全活動功労者代表謝辞



▲開式の辞



▲保全活動功労者代表（伊藤正博様）
謝辞

記念式典の様子は公式YouTubeを通じてオンラインでの同時配信がされました。

藤前干潟写真コンテスト

藤前干潟ラムサール条約登録20周年を記念して、藤前干潟の魅力を知り、親しんでいただくために行った、藤前干潟写真コンテストの入賞作品の表彰式をステージ上で行いました。

多くの受賞者の方にご参加いただき、大変にぎやかな表彰式となりました。



〈写真コンテストの概要〉

テーマ：「藤前干潟の四季～風景・生きもの～」

撮影対象：藤前干潟やその周辺の風景、生きもの（野鳥、カニ、魚、植物など）

撮影場所：国指定藤前干潟鳥獣保護区内及びその周辺

応募期間：令和4年4月1日（金）～8月31日（水）

主催：藤前干潟ふれあい事業実行委員会、名古屋市野鳥観察館 指定管理者 東海・稲永ネットワーク

協力：名古屋臨海高速鉄道株式会社

応募総数：合計94点

受賞作品：実行委員会賞、野鳥観察館賞、あおなみ線賞各1点、入賞9点、ジュニア賞12点

実行委員会賞作品

船橋 雅矢 様
「水晶石に閉じ込めた藤前の夕日」



野鳥観察館賞作品

天本 清 様
「オオソリハシギの飛翔」



あおなみ線賞作品

新田 稲子 様
「群れ飛ぶカワウ」



〈藤前干潟写真コンテスト入賞作品の展示〉

期間：令和4年11月1日（火）～11月30日（水）

会場：名古屋市野鳥観察館 2階、あおなみギャラリー、メイカーズピア MPギャラリー

※名古屋市野鳥観察館には応募作品も展示いたしました。



▲あおなみギャラリー



▲メイカーズピア MPギャラリー

ブースの様子



▲名古屋港水族館



▲土岐川庄内川源流の森委員会



▲名古屋臨海高速鉄道株式会社
※あおなみさんぽゴール



▲イオンリテール株式会社
イオンスタイル名古屋茶屋



▲環境省



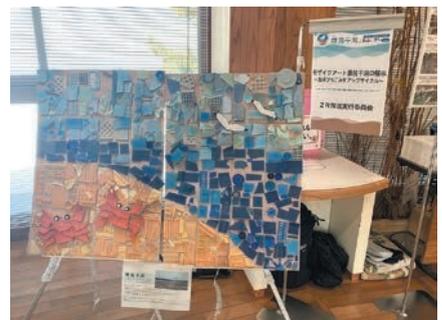
▲株式会社地域環境計画 (ちいかん)



▲Nature Clips



▲名古屋市環境局減量推進室



▲2R推進実行委員会



▲なごや生物多様性センター



▲国内湿地交流事業

稲永ビジターセンター内

ミニシンポジウム～未来へつなごう！藤前干潟～

藤前干潟に関わりの深い市民活動団体、学識者、行政が、パネリストとしてそれぞれの立場から藤前干潟を語りました。

藤前干潟での活動や課題、干潟への想いや今後について意見交換を行い、これまでを振り返るとともに、未来について考えました。なお、同シンポジウムはオンライン配信で行いました。

時 間：10：30～12：10

場 所：環境省稲永ビジターセンター 1階研修室

主 催：環境省中部地方環境事務所

司 会：青木 美鈴（NPO法人日本国際湿地保全連合（WIJ）主任研究員）

登壇者：千頭 聡（日本福祉大学特任教授、藤前干潟協議会運営委員長）

上野 薫（中部大学応用生物学部環境生物科学科准教授）

亀井 浩次（NPO法人藤前干潟を守る会 理事長）

沢辺 幹和（名古屋鳥類調査会）

西村 祐輝（NPO法人藤前干潟を守る会 認定ガタレンジャー）

鈴木 佑大（NPO法人藤前干潟を守る会 認定ガタレンジャー）

山田 智隆（名古屋市環境局ごみ減量部減量推進室）



〈内 容〉

1 基調講演

「藤前干潟が保全されてからのあゆみ」

藤前干潟協議会運営委員長 千頭 聡



2 発 表

- ・「藤前干潟に生息する底生生物（ベントス）について」
NPO法人日本国際湿地保全連合（WIJ）主任研究員 青木 美鈴
- ・「藤前干潟に飛来する鳥類の状況について」
名古屋鳥類調査会 沢辺 幹和
- ・「藤前干潟に生える植物、ヨシについて」
中部大学応用生物学部環境生物科学科准教授 上野 薫
- ・「藤前干潟のプラスチックごみ（マイクロプラスチック）の現状について」
名古屋市環境局ごみ減量部減量推進室 山田 智隆
- ・「若者視点から見た藤前干潟での取り組みと課題について」
NPO法人藤前干潟を守る会 認定ガタレンジャー 西村 祐輝



3 登壇者によるディスカッション

藤前干潟のこれからについて、藤前干潟の課題、干潟を訪れる鳥類の減少、干潟のごみの問題、関わる人の人材不足について、それぞれの立場からご意見をいただきました。

議論の中では、藤前干潟の価値について見直され、当時の保全の経緯が薄れてきているとの話題も上がりました。今後も経緯をしっかりと伝えていくことの重要性などが再認識されました。

また、事前に多くの市民のみなさまの声として集めた「藤前干潟未来へのメッセージ」を、ミニシンポジウムの最後に紹介するとともに、登壇者の発言をもとにこれからの藤前干潟の展望について考えました。



記念式典及びミニシンポジウムの同時配信

藤前干潟ラムサール条約登録20周年記念式典及びミニシンポジウムは、名古屋市野鳥観察館、環境省藤前干潟活動センター、名古屋市環境学習センター、イオンモール名古屋茶屋にて同時配信するとともに、藤前干潟ふれあい事業公式YouTubeによる配信を行いました。



▲名古屋市野鳥観察館



▲環境省藤前干潟活動センター



▲名古屋市環境学習センター



▲イオンスタイル名古屋茶屋

講座「プランクトンの世界～藤前干潟を中心に～」

大きさが微細なため通常では目にすることが無いプランクトンについて、写真や動画をまじえて話を聞き、実際に顕微鏡で観察していただき、藤前干潟に生息するプランクトンへの関心を高めていただきました。

時 間：13：30～15：00

場 所：環境省稲永ビジターセンター 1階研修室

主 催：環境省中部地方環境事務所

講 師：大村 卓朗

(株)水圏科学コンサルタント／東京海洋大学共同研究員

参 加 者：18名



人形劇「おねがいエコぞう 名古屋ってすごい」

藤前干潟の生き物たちがたくさん出てきて、藤前干潟の歴史をわかりやすく伝える楽しい人形劇です。たくさんのお子様たちに藤前干潟の大切さについて学んでいただきました。

時 間：9：45～10：15、13：30～14：00

場 所：環境省稲永ビジターセンター 2階会議室

実施団体：人形劇団おたまじゃくし



ワークショップ

藤前干潟の生きものについて関心を持っていただくために、ペーパーキャップづくりとぬりえのワークショップを行いました。

時 間：9：30～16：00（自由参加）

場 所：環境省稲永ビジターセンター 1階レクチャー室

主 催：藤前干潟ふれあい事業実行委員会



名古屋市野鳥観察館内

鳥のクリスマスリースを作ろう！

時 間：13：30～15：30

場 所：名古屋市野鳥観察館 1 階



野鳥観察

時 間：9：00～16：30

場 所：屋外、名古屋市野鳥観察館 1 階、2 階



藤前干潟写真コンテスト応募作品展

時 間：9：30～16：00

場 所：屋外、名古屋市野鳥観察館 2 階





藤前会場 (藤前干潟活動センター)

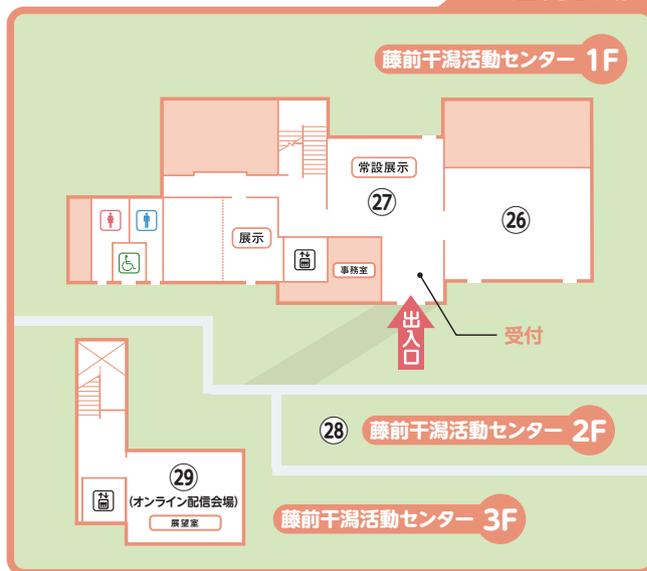
会場図

藤前会場

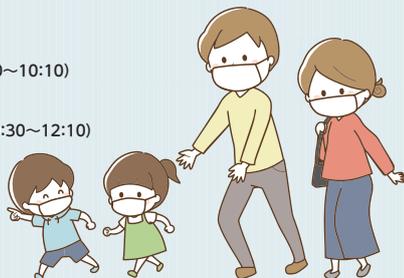


藤前干潟活動センター

屋内会場



- 19 **ゼロエミッションとは?** / 中部リサイクル株式会社
- 20 **「東海丘陵湧水湿地群」ラムサール条約登録10周年**
/ 豊田市自然観察の森
- 21 **伊勢湾ごみ流出防衛最前線!ごみから守ろう、豊かな川と海!**
/ 藤前干潟クリーン大作戦実行委員会
- 22 **森の素材で「生きもの」を作ろう!~生きものつながりを感じて~**
/ 愛知県自然環境課
- 23 **海ごみゼロを目指して** / 海と日本プロジェクトin愛知県実行委員会
- 24 **藤前干潟ラムサール条約登録20周年** / 藤前干潟を守る会
- 25 **藤前干潟の上流土岐川の生き物** / 多治見市土岐川観察館
- 26 **演劇** 劇団シンデレラ (11:00~)
- 27 **常設展示「藤前干潟水族館」**
- 28 **企画展「干潟のふしぎ展」**
~干潟ってどんなところ?~
- 29 **オンライン配信** 記念式典 (9:30~10:10)
ミニシンポジウム
~未来へつなごう!藤前干潟~ (10:30~12:10)



ステージ

【藤前会場】

12:30～名古屋おもてなし武将隊®演舞

出陣:前田利家、前田慶次、なつ、太助

13:00～ゆるキャラタイム

はち丸、シャチのジュンちゃん、メリ夫などとクイズをしよう!

13:30～尾張新次郎太鼓保存会

14:45～干潟を音であそぼ!

本多“taco-bow”正典
～タイココミュニケーション～



▲名古屋おもてなし武将隊®演舞



▲ゆるキャラタイム



▲干潟を音であそぼ!



▲尾張新次郎太鼓保存会

ブース出展の様子



▲中部リサイクル株式会社



▲豊田市自然観察の森



▲藤前干潟クリーン大作戦実行委員会



▲愛知県自然環境課



▲海と日本プロジェクト
in 愛知県実行委員会



▲藤前干潟を守る会



▲多治見市土岐川観察館



▲その他会場の様子▲



演劇「劇団シンデレラ」

藤前干潟の歴史や藤前干潟の生き物たちのことをわかりやすく伝え、考えていただく劇を行いました。たくさんの方に藤前干潟を守る大切さについて学んでいただきました。

時 間：11：00～11：30

場 所：環境省藤前干潟活動センター 1階 レクチャー室

実施団体：劇団シンデレラ





シャトルバスの運行

稲永会場と藤前会場をシャトルバスで結び、両会場のイベントに参加者に楽しんでいただきました。

バス：2台

乗車場所：【稲永会場】 稲永公園南駐車場内

【藤前会場】 環境省藤前干潟活動センター前



時刻表：

藤前会場 ↓ 稲永会場	9	45
	10	15 45
	11	15 45
	12	15 45
	13	15 45
	14	15
	15	15 45
	16	15

稲永会場 ↓ 藤前会場	9	45
	10	15 45
	11	15 45
	12	15 45
	13	15 45
	14	15
	15	15 45
	16	15



運行ルート：

乗客数：合計延べ164人



	稲永会場→藤前会場	藤前会場→稲永会場
9:45	1	0
10:15	5	0
10:45	21	1
11:15	7	4
11:45	10	14
12:15	7	10
12:45	4	9
13:15	5	21
13:45	8	5
14:15	6	6
15:15	6	7
15:45	0	4
16:15	0	3
	80	84





藤前干潟スタンプラリー!

藤前干潟と名古屋の環境施設を回って、スタンプを集めるスタンプラリーを通して、藤前干潟関連施設へ足を運んでいただくきっかけとしました。

イベントの会場でもある稲永ビジターセンター、名古屋市野鳥観察館、藤前干潟活動センターも対象となっており、当日は、稲永会場のイベント本部でも景品交換を実施し、多くの方にご来場いただきました。

スタンプ会場：名古屋市環境学習センター
環境省藤前干潟活動センター
名古屋市野鳥観察館
メイカースピア MPギャラリー
環境省稲永ビジターセンター

景品交換所：名古屋市環境学習センター
名古屋市野鳥観察館

※野鳥観察館は、11月19日（土）は藤前干潟ふれあいデー2022の稲永会場イベント本部にて対応



▲スタンプ台



▲ふれあいデー当日の様子

〈スタンプラリーの概要〉

期 間：令和4年11月1日（火）～11月30日（水）

参加者数：413人（景品交換者数）

景 品：
・トビハゼのタオル（スタンプ5個）
・ハンドタオル（スタンプ4個）
・マグネット、ふせん、缶バッチのいずれか（スタンプ1～3個）



11月19日（土）は、スタンプ5個押印した台紙を稲永会場イベント本部まで持参した方に**手ぬぐい**をプレゼントしました。



作成物

事前チラシ (第1弾) 9月

- 規格：A4両面、カラー
- 制作枚数：2,500枚

【表】



【裏】



ポスター

- 規格：B2片面、カラー
- 制作枚数：100枚



事前チラシ (第2弾) 10月

- 規格：A3両面、2つ折り、カラー
- 制作枚数：5,000枚

[表]



[裏]



当日チラシ

- 規格：A4両面、3つ折り、カラー
- 制作枚数：500枚

[表]



[裏]



当日案内看板等

- 規格：B2片面、カラー
- 制作枚数：各1枚

2枚



そのほかの作成物

- 2023年藤前干潟カレンダー
- 藤前干潟写真コンテストの入賞作品を使用したカレンダー
- ・規格：100mm×148mm
- ・制作部数：200部
- 写真コンテスト参加者等に配布



- 藤前干潟生きものハンドブック
- 藤前干潟観察会などに使用するハンドブック
- 藤前干潟写真コンテストの入賞作品を一部使用しました。
- ・規格：A5両面、中綴じ、カラー
- ・制作部数：1,000部
- 写真コンテスト参加者、観察会等で配布





その他の藤前干潟ラムサール条約 登録20周年記念事業

主催事業

事業名	内容
子ども向け干潟観察会	●令和4年6月4日（土） 干潟に入り、生きもの観察を実施
干潟を音であそぼ！	●令和4年7月26日（火） 干潟と音楽を組み合わせたイベントを実施 【演奏者：パーカッショニスト 本多“taco-bow”正典さん】
干潟体験（泥干潟）	●令和4年7月31日（日）、8月14日（日） 干潟に入り、生きもの観察を実施
ひがたにくるトリ、どんなトリ？	●令和4年8月24日（水） 野鳥観察をした後、カモのミニ模型へ色ぬりを実施 【講師：ハンドメイド作家 Cha Chattoさん】
ヨシ原の人気者 カニとトビハゼに会おう！	●令和4年10月10日（月・祝） ヨシ原の中に入って、生きものを観察を実施
藤前干潟サイエンスカフェ2022 鳥の祖先の恐竜のはなし	●令和4年12月4日（日） 恐竜研究の面白さや鳥と恐竜の関係について講演 【講師：田中康平先生（筑波大学） NHKラジオ「子ども科学電話相談室」でおなじみの恐竜博士】
今日からはじめるバードウォッチング！	●令和5年2月4日（土） 干潟や野鳥について説明をし、野鳥観察を実施



▲干潟を音であそぼ！



▲干潟体験（泥干潟）



▲ひがたにくるトリ、どんなトリ？



▲ヨシ原の人気者 カニとトビハゼに会おう！

他団体との連携事業

連携先	内容
茶屋新田田んぼアート実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年5月8日(日) 田植え、7月3日(日) 観察会、10月9日(日) 稲刈り、12月11日(日) 収穫祭 田んぼアートのデザインとして、地元、藤前干潟の生き物たちを描画 上記の一部日程には、実際の干潟にすむカニを展示
名古屋港水族館	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年8月1日(月)～9月25日(日) パネル展示「出張！藤前干潟@名古屋港水族館！」を実施 令和4年8月23日(火) 13時～16時 ワークショップ「水族館deトリのミニ模型塗り！」を実施
イオンモール株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年9月14日(水)～9月28日(水) イオンモール名古屋茶屋にて「イオンモールのSDGs フェス」に出展
環境デーなごや実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年9月17日(土) 「環境デーなごや中央行事」にてラムサール条約登録20周年記念のステージ等を実施
なごや生物多様性センター	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年10月29日(土) 「なごや生物多様性センターまつり」にて、藤前干潟をテーマとしたステージに出演し、ブースを出展
名古屋臨海高速鉄道株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年11月1日(火)～11月30日(水) あおなみギャラリーで藤前干潟写真コンテストの受賞作品等の展示 令和4年11月19日(土)～11月27日(日) あおなみさんぽ2022秋 第3回 「荒子川公園を通りラムサール条約登録20周年を迎える藤前干潟へ向かうコース」を実施 11月1日(火)～11月30日(水) あおなみ線の車両一編成にラムサール条約登録20周年を記念してヘッドマークを取り付けた車両を運行
港区区民まつり実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年11月3日(木・祝) 「港区区民まつり(みなと遊友フェスタ2022)」の港区の魅力発信コーナーにてラムサール条約登録20周年記念のブースを出展
名古屋みなと 蔦屋書店	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年11月5日(土)～11月19日(土) 店内の一角に、藤前干潟ラムサール条約登録20周年記念イベント告知スペースを設置
東邦ガス株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年12月5日(月)～12月25日(日) 東邦ガスガスエネルギー館にてパネル展示等を実施



▲田んぼアート (撮影：深谷薫)



▲パネル展示「出張！藤前干潟@名古屋港水族館！」



▲イオンモールのSDGs フェス



▲あおなみ線ヘッドマーク

協力事業

事業名	主催
'22 春の藤前干潟クリーン大作戦	藤前干潟クリーン大作戦実行委員会
'22 秋の藤前干潟クリーン大作戦	
五感を通じて海ごころを育てよう『夏休み体験プログラム』	JTB名古屋事業部

共催事業

事業名	主催	
藤前干潟の釣りゴミ清掃活動（5月、12月）	WATERSIDE CONTROL	
劇団シンデレラと藤前干潟を学ぼう・感じよう！	劇団シンデレラ	
藤前干潟を石こうで型どろろ！バードウォッチングを楽しもう！	The Liminal Voice	
第10回ごみと水を考える集い	土岐川・庄内川源流の森委員会、 NPO法人土岐川・庄内川サポートセンター、 22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会、 四日市ウミガメ保存会、藤前干潟クリーン大作戦実行委員会	
渡り鳥調査隊 4月～11月	名古屋市野鳥観察館	
愛鳥週間写真展2022		
渡り鳥調査隊12月&藤前干潟のヨシを使った工作	名古屋市野鳥観察館/NPO法人藤前干潟を守る会	
渡り鳥調査隊1月&鳥の足型とり		
渡り鳥調査隊2月&カモかもウォッチング		
藤前干潟等の展示（環境デーなごや 地域環境イベント出展）	西環境事業所	
藤前干潟の展示及び工作体験（西区民おまつり広場出展）		
観察会&藤前干潟生きもの図鑑の写真を撮ろう！（計3回）	NPO法人藤前干潟を守る会	
カニパラダイスヘレツゴー		
藤前干潟生きもの調査		
プランクトン観察会		
カニとトビハゼに会おう！		
冬眠前の干潟の生きものに会おう！		
Crab Paradise		
カワザンショウガイ調査		
藤前干潟 生きものまつり		
漁師さんに挑戦！		
Tidal flat Adventures at Fujimae		
ガタモンを探せ！		
夏休み直前！ 自由研究第1弾！！旅をする生きものたち		
自由研究第2弾 干潟の生きもの調査隊！		
夏休み！干潟観察会～干潟のふしぎを体感しよう！～		
秋の干潟観察会		
石ころ干潟観察会		
石ころ干潟観察会～干潟のふしぎを体感しよう！～		
冬鳥ウォッチング		
海苔を作ろう！		
企画展 干潟のふしぎ展～干潟ってなんだ！？～		
鳥の体のしくみ展		
「MIRAI」展示、環境クイズの実施（港区民まつり出展）		港区保健福祉センター公害対策室



ラムサール条約登録湿地 藤前干潟プロムナード事業

ラムサール条約への登録から20周年を迎える2022年に向けた機運の醸成を目的に、令和2年度から3年計画で藤前干潟プロムナード事業を実施しました。

藤前干潟に臨む稲永公園内やその周辺にコースを設定し、学習教材を兼ねた案内表示の設置等を行い、プロムナードとして整備するほか、ウェブサイトや映像等の制作、広報の充実、イベントの実施等を行いました。

実施主体：名古屋市港区役所、環境局、緑政土木局

藤前干潟プロムナード



藤前干潟デジタルスタンプラリー

稲永公園内にある一部の案内表示などの二次元コードを専用アプリで読み込んで、7つのデジタルスタンプを全部集めると「いきものずかん」が完成します。



▲スマートフォン上の様子

令和4年度事業

藤前干潟ラムサール条約登録20周年記念トークショー ～干潟はいのちをつないでいる～

「藤前干潟ってどこにあるの?」「干潟にはどんな鳥が来るの?」などの素朴な疑問から、干潟を守るために私たちにできることなどについて語り合うトークショーを行いました。

日時：令和4年10月8日（土）14：00～15：30

開催場所：港文化小劇場

主催：名古屋市港区役所

出演：藤前干潟ラムサール条約登録20周年記念アンバサダー 高柳 明音さん（女優・タレント）
名古屋市野鳥観察館 野村 朋子さん

内容：藤前干潟の保全の歴史から、干潟の生物や野鳥、干潟の抱える問題などをスライドを使ってわかりやすく紹介しました。また、干潟を訪れる野鳥をテーマとしたビンゴ大会では、藤前干潟オリジナルピンバッジなどをプレゼントしました。



◀藤前干潟オリジナルピンバッジ

藤前干潟ラムサール条約登録20周年記念アンバサダー

高柳明音さん（女優・タレント）に「藤前干潟ラムサール条約登録20周年記念アンバサダー」に就任いただき、20周年記念事業の広報、宣伝を行っていただきました。



プロギング&藤前干潟プロムナードガイドツアー ～名古屋市のごみ減量の原点「藤前干潟」でプロギングと干潟学習に挑戦～

藤前干潟に臨む稲永公園とその周辺でプロギング（ごみ拾いとジョギングを合わせたスポーツ）を開催。稲永公園内では途中、専門ガイドによる干潟のミニミニ講座も行いました。

日時：令和4年12月10日（土）9：30～11：30

開催場所：稲永公園

主催：名古屋市港区役所



藤前干潟周辺施設

稲永ビジターセンター

(港区野跡4-11-2)

藤前干潟全体や周辺地域の環境についての情報を収集・発信している施設です!



名古屋市野鳥観察館

(港区野跡4-11-2)

館内には30台の望遠鏡があり、四季折々の渡り鳥が観察できます!



藤前干潟活動センター

(港区藤前2-202)

藤前干潟の様子を間近で見られ、体験し、学べる施設です!



公式ウェブサイト等

★藤前干潟ウェブサイト!

藤前干潟やイベント情報はこちらのウェブサイトです。随時更新します! チェックしてみてくださいね!



★藤前干潟ふれあい事業 YouTube

YouTubeで藤前干潟ふれあい事業でのイベントの様子やここでしか見られないさまざまなコンテンツをアップしています! ぜひチェックしてみてくださいね!



【問合せ先】

藤前干潟ふれあい事業実行委員会事務局 (名古屋市環境局環境企画課)

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23-13 伏見ライフプラザ13階 エコパルなごや内

TEL 052-223-1067 FAX 052-223-4199 Eメール a2662@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp